

助成事業実施報告書

団体名 ふじタウン自主防災会

代表者・役職名 氏名 会長 藤野 善武



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ふじタウン自主防災会の防災・減災活動推進

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

東日本大震災を受けて自主防災組織の必要性から、ふじタウン自治会として平成25年4月7日に「ふじタウン自主防災会」設置。自治会長が2年ごとに改選されるため、継続性が肝要な防災会の性質上、平成27年4月12日に自治会から独立した組織に変更。462世帯1106名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

- 西日本豪雨・北海道胆振東部地震等大災害が頻発する現状と、何時発災してもおかしくない南海トラフ地震を考えると、自主防災会による防災・減災活動の充実を図ることが喫緊の課題であり、そのために活動の中心となる防災士養成を今年度第一の活動目標としています。現在、防災士7名を今年度更に5名の資格取得を目指し、合計12名の防災士体制を作ります。人は皆です。
- 要支援者の災害時支援体制をさらに徹底する⇒昨年度実施した自治会・自主防災会・民生委員共催の区別要支援者会議や藤友会(老人会)・防災会共催の独居者食事会・区毎のふれあい祭り等を今年度も積極的に開催し、住民お互いが助け合う体制の確立を図っていきます。
- 令和2年3月に完成の新集会所は、耐震性能を向上させ、発災時に一時避難所としての機能を満たすものになります。この新集会所を活用した防災・減災活動を推進していく予定です。今年度は、その準備活動として子供会と藤友会(老人会)共催で、サバイバル・バーベキュー大会を実施します。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- 12名の防災士による発災時における自主防災会の役割の再徹底。
 - ・廿日市市ボランティアセンターとの協力体制・自主防災会・班ごとの役割徹底
- 炊き出し訓練
 - サバイバル・バーベキュー大会(子供会・藤友会・防災会共催) 5月
 - 餅つき大会 豚汁炊き出し訓練 12月
 - 阿品コミ防災避難訓練 豚汁炊き出し訓練 2月
- 防災研修会
 - 要支援者対応・班別会議、独居者食事会、藤友会ふれあい祭り等の機会をとらえ、防災・減災活動を実施していきます。
- 発災時の問題点を徹底する。・トイレ問題 ・被災時にボランティアセンターへの連絡がないと応援には来てくれない・早めの避難⇒土砂災害特別警戒地区の住民は、避難準備情報で集会所避難。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果○真如苑様ご支援のお陰で、ふじタウン自主防災会の最重要課題である防災士を新規に5名増加し、12名体制にすることが出来ました。 ※防災の基礎は人です。

○藤友会(老人会)新年会に防災士10名が参加し、災害発災時に特に支援を必要とする高齢者との交流を図ることが出来ました。

○藤友会の一人暮らしの方対象「ほほえみ会」で、防災講話を実施し、近所同士での助け合いを勧める。

○子供会・藤友会と共催で、サバイバル・バーベキュー大会を実施し、炊き出し訓練を体験させた、

成果○上記の通り、種々の組織で防災に関する会合を開くようになり、その相乗効果としてお互いの絆がより深まりました。「今年はなかったが、班別防災会議を是非継続して開催して欲しい」との強い要望が出ていることは、反省材料としたいと考えています。

○自前防災士の養成も、住民の関心が高まり、今期は5名増となり、合計12名になりました。

○新集会所の完成は、住民皆様の安心感を高め、より一層、防災意識向上に繋がりました。

効果○上記活動を通じ、ふじタウン自主防災会活動に、信頼を寄せて頂くようになりました。

○6月7日前線の通過による大雨警報を受け、避難準備情報が発令され、ふじタウン集会所を一時避難所として開設しました。幸か不幸か、お陰様で、避難者はゼロでした。

○広島県防災士会や廿日市市防災士連絡協議会・廿日市市大野二区防災研修会等で、ふじタウン自主防災会の上記活動を紹介することにより、各地域での防災活動の参考になっています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延で、全ての活動が止まり、収束のめども立たないことから、活動の具体的予定を立てることが出来ず、歯がゆい日々を送っています。折角、令和2年に、一時避難所を兼ねた新しい集会所が公園内に完成し、新集会所を活用した防災活動を推進していく予定でした。

① 新集会所完成・ふじタウン自主防災会設立7周年記念防災講演会⇒4月予定を中止、改めて日程調整中

② 防災士の充実・防災資機材の充実が図られてきているので、これを利用して防災教育・防災活動の一層の推進を図っていきます。新防災士から防災資機材充実の要望が寄せられてと居るので、検討を進めたい。

③ 住民懇談会の継続実施。→ふじタウンに新しい住民が増え、以前実施した班別防災会議に参加されていない方も多くなった。住民から、定期的に住民が集まれることを実施して欲しいとの要望があります。

今年度は、住民参加で作成した新しい阿品地区ハザードマップを活用した防災・減災活動を推進します。

④ コロナ騒ぎで中止した第三回・基礎救命講習会を終息後実施し、修了証という資格取得を図り、万一の救命に役立つようにします。

⑤ 子供会と協力し、防災に役立つ催しを検討する会議が全て中止となり、新型コロナウイルス感染症終息後に再検討する予定です。第2回サバイバル・バーベキュー大会を実施し、災害時生き延びるために役立つ技を身に着けるようにします。

7. 参考資料

①令和2年度ふじタウン自主防災会総会資料②書面決裁結果と、回答書③自治会・新集会所特集号及び藤友会だより新年号。④ふじタウン自主防災会活動写真集⑤ふじタウン自主防災会七年間の活動写真集⑥その他チラシ等資料

参考資料あり
特になし

令和元年度・ふじタウン自主防災会活動写真集

H31.4.7 ふじタウン自主防災会総会



H31.4.18 FMはつかいち「市民の防災講座」



R1.5.27 子供会サバイバル・バーベキュー大会



R1.5.30 阿品台西小「通学路安全マップ作り」



R1.6.7 前線による大雨警報で一時避難所開設



災害用トイレセット・空気マット紹介



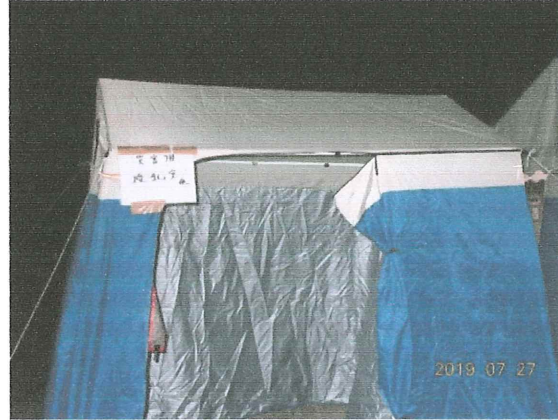
災害用マンホールトイレ



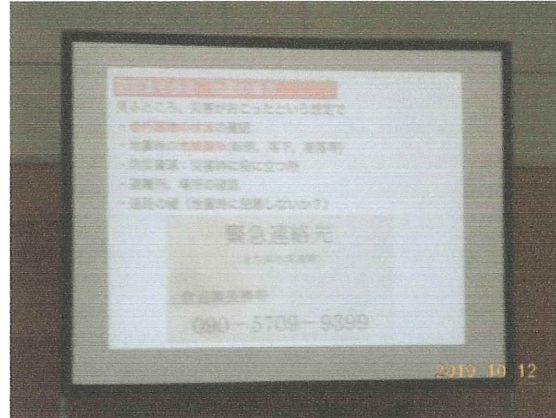
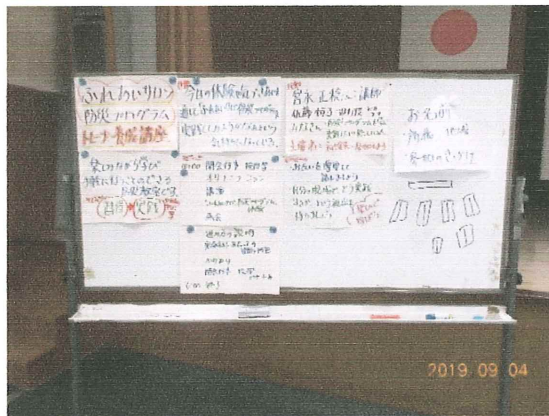
真如苑様ご支援 折り畳み式リヤカー・車椅子



災害時 更衣室・授乳室用テント



R1.9.29 廿日市市大野2区「だんだん防災研修会」災害発災時にどう逃げるか



R1.10.12 広島県学生消防団・防災研修会「防災街歩き」廿日市市スポーツセンター

